

令和2年4月9日

各関係大学長  
各関係学部長 殿  
各関係機関長

国立大学法人琉球大学  
農学部長  
(公印省略)

### 教員の公募について（依頼）

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本学部では下記の要領で教員を公募いたします。つきましては、貴機関の関係各位に周知方ご高配くださるようお願い申し上げます。

謹白

### 記

1. 公募対象：農学部 地域農業工学科 農村環境保全・防災学分野 教授 1名
2. 応募資格：
  - 1) 博士の学位を有する者
  - 2) 農村環境保全学を専門とし、学部及び大学院の教育と研究指導を担当できる能力を有し、地域環境工学コースにおける JABEE 認定教育に熱意を持って取り組めるとともに、農村環境保全学に関する幅広い知識と優れた研究業績を有する者
  - 3) 学部において、農村農地の整備、農業農村工学（分担）、農村計画学（分担）、施設工学（分担）、食・農・環境概論（分担）、地域環境総合演習Ⅰ・Ⅱ（分担）、地域農業工学演習Ⅱ・Ⅲ（分担）、卒業論文Ⅰ・Ⅱ、大学院において、農村農地整備学特論、土質改善学特論（分担）、農学研究の最前線（分担）、亜熱帯農学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、亜熱帯農学特別演習Ⅰ・Ⅱを担当できる者
  - 4) 大学の学部卒業者にあつては、卒業後10年以上の研究歴又は教育歴を有する者
  - 5) 鹿児島大学大学院連合農学研究科（博士後期課程）の主指導教員資格を得られる者（<http://homeugs.agri.kagoshima-u.ac.jp/contents/examination/>をご覧ください）
3. 提出書類：
  - 1) 履歴書（別紙1参照）
  - 2) 最終学校の卒業（修了）証明書
  - 3) 学位授与証明書（学位記の写しでも可）
  - 4) 学術研究業績集計表（別紙2参照）
  - 5) 主要学術研究業績の概要と現在取り組んでいる研究テーマの概要（別紙3参照）
  - 6) 学術研究業績一覧（別紙4参照）
    - ①業績リスト
    - ②研究論文等の別刷又はその写し

- 7) 研究指導実績の概要 (別紙5参照)
- 8) 教育活動実績の概要 (別紙6参照)
- 9) 教育研究業績以外の実績概要 (別紙7参照)
- 10) その他特記事項 (別紙7参照)
- 11) 大学の教員又は国公立の研究機関の研究員等による推薦書  
(なお、国公立の研究機関には、独立行政法人、国立研究開発法人等を含む)
- 12) 着任後の教育・研究に対する抱負 (2,000字程度、A4判用紙を使用)

4. 応募期限：令和2年5月25日午後5時までに必着のこと

5. 採用予定：令和2年9月1日以降の早い時期

6. 応募先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
琉球大学総務部人事企画課任用係

- 1) 応募書類は、封筒に「農学部 地域農業工学科 農村環境保全・防災学分野 教授 応募書類」と必ず朱書し、配達記録される方法でご提出ください。
- 2) 提出書類は原則として返却しませんのでご了承ください。
- 3) 書類による審査後、対象者に対して面接(教育活動実績、研究指導実績、教育研究の抱負等のプレゼンテーションを含む)及び必要に応じて模擬授業を行います。なお、その際の交通費等は支給しませんのであらかじめご了承ください。

7. 問合わせ先：

琉球大学農学部 地域農業工学科 農村環境保全・防災学分野  
教授 中村 真也 TEL 098-895-8786  
琉球大学総務部 人事企画課任用係 TEL 098-895-8023

8. その他：

- 1) 琉球大学農学部は、「亜熱帯地域農学科」、「亜熱帯農林環境科学科」、「地域農業工学科」及び「亜熱帯生物資源科学科」の4学科で構成されています。地域農業工学科は、「バイオシステム工学コース」、「地域環境工学コース」の2つの教育コースを提供し、バイオシステム工学、農村環境・基盤整備学、農村環境保全・防災学の3分野からなります。農村環境保全・防災学分野は、JABEE認定プログラム「地域環境工学コース」に参加し、現在、教授2名(今回公募の1名を含む)、准教授1名、助教1名で学部及び大学院の教育・研究指導を行っています。
- 2) 琉球大学大学院農学研究科では、鹿児島大学大学院連合農学研究科(博士課程後期)の構成大学としても教育・研究指導を行っています。鹿児島大学大学院連合農学研究科については、公式サイト(<http://homeugs.agri.kagoshima-u.ac.jp/>)をご覧ください。
- 3) 琉球大学の待遇は以下のとおりです。  
雇用形態：常勤(1日7時間45分、週5日勤)  
給与：経歴によって算定(国立大学法人琉球大学職員給与規程による)  
諸手当：通勤手当、住居手当等(国立大学法人琉球大学職員給与規程(千原事業場)による)

休日：日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日～1月3日）、その他特に指定する日  
福利厚生：文部科学省共済組合に加入

- 4) 琉球大学では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、男女共同参画を推進しており、女性研究者の積極的な応募を歓迎しています。選考過程で評価が同等と認められた場合は女性の候補者を優先します。  
本学の男女共同参画に対する取り組みについては、琉球大学ジェンダー協働推進室の公式サイト（<http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/>）をご覧ください。
- 5) 男女問わず、出産・育児・介護等に従事した期間について考慮することを希望する場合は、履歴書の備考欄に付記してください。
- 6) 琉球大学の教員の定年は満65歳です。

(別紙1) (すべての様式において本文中の下線部は削除してください。)  
(下記の様式を参考にして、ワープロ等でA4用紙に作成してください)

## 履 歴 書

ふりがな  
氏名

:

生年月日

:

現住所

: 〒

連絡先

: 〒

TEL

FAX

E-mail

写真貼付  
(3×4cm 程度)

学歴 (年月・事項の間に適宜空白を入れる)  
高等学校卒業以降の事項で、学位取得を含む。

職歴 (年月・事項の間に適宜空白を入れる)

所属学会及び社会における活動等 (年月・事項の間に適宜空白を入れる)

賞罰 (年月・事項の間に適宜空白を入れる) 学会賞を含む

備考

※男女問わず、出産・育児・介護等に従事した期間について考慮することを希望する場合は、履歴書の備考欄に付記してください。

上記の通り相違ありません。

令和 年 月 日

氏名

(別紙2)

学術研究業績集計表

	全業績	最近5年間の業績	備考
学術論文-1	編	編	
学術論文-2	編	編	
著書	編	編	
翻訳	編	編	
その他の業績			
総説	編	編	
研究報告書	編	編	
学会発表	—	編	
その他	編	編	

学術論文-1 (レフェリー付き学会誌)

学術論文-2 (レフェリー付き学会誌以外の学術雑誌)

(別紙3)

主要学術研究業績の概要と現在取り組んでいる研究テーマの概要

**主要学術研究業績の概要**

全業績のうち、主要なもの10編以内を任意に選択し、それぞれの概要を100字から200字程度で記述する。

**現在取り組んでいる研究テーマの概要**

現在取り組んでいる研究テーマの概要を1,000字から2,000字程度で記述する。

(別紙4)

(下記の様式を参考にして、ワープロ等でA4用紙に作成してください)

## 業績リスト

令和 年 月 日

氏名 印

### I 学位論文

1. 論文標題  
取得大学、取得年（西暦）

### II 学術論文—1（レフェリー付き学会誌）

1. 著者（連名の場合は掲載順に）、発行年月（西暦）  
論文標題、掲載誌、巻（号）：ページ（最初—最後のページ）
2. 著者（連名の場合は掲載順に）、発行年月（西暦）  
論文標題、掲載誌、巻（号）、論文番号、doi：…
3. ……………

### III 学術論文—2（レフェリー付き学会誌以外の学術雑誌）

1. 著者（連名の場合は掲載順に）、発行年月（西暦）  
論文標題、掲載誌、巻（号）：ページ（最初—最後のページ）
2. ……………
3. ……………

### IV 著書

1. 著者（連名の場合、記載順に）、発行年月（西暦）  
書名、出版社
2. ……………

### V 翻訳

1. 著者、訳者（連名の場合、記載順に）、発行年月（西暦）  
書名、出版社
2. ……………

### VI その他業績

1. 総説、研究報告書、最近5年間の学会発表、その他について項目ごとに記入してください。上記のいずれにも該当しない研究業績は「その他」として記載してください。

### VII 外部資金の獲得状況

科学研究費助成事業（研究課題ごとに研究代表者／分担者を明記する）、その他の研究助成金、共同研究、受託研究、奨学寄付金、その他に区分して、研究費等の外部資金獲得状況を研究課題と概算金額とともに記載してください。

○発表年の古いものから順に記載してください。

- 単著、共著にかかわらず本人の氏名に下線を付してください。
- Ⅱの学術論文—1（レフェリー付き学会誌）については、コレスポンディングオーサーに該当する場合、氏名に\*（アスタリスク）を付してください。
- Ⅱ・Ⅲの学術論文については、すべての別刷又はその写しを添えてください。
- Ⅳの著書及びⅤの翻訳については、表紙、目次、著者・発行機関・年月の明示されたページ（奥付など）の写し及び100字程度の概要（単著の場合）又は担当箇所（共著の場合）の写しを添えてください。
- Ⅵのその他の業績については、別刷又はその写しを添える必要はありません。

(別紙5)

## 研究指導実績の概要

学部、修士課程及び博士課程の学生に対して研究指導した論文タイトル（10件以内）、さらに指導で重視した点を記述する。なお、教育機関以外の公的試験研究機関や民間企業からの応募者については、プロジェクト研究や社内でのチーム研究等の実績（10件以内）について役割分担も含めて記述する。

(別紙6)

## 教育活動実績の概要

下記のような教育活動実績について記述する。なお、教育機関以外の公的試験研究機関や民間企業からの応募者については、所属機関以外の教育活動実績を含めて記述する。

- ・所属する大学学部、大学院における担当授業科目及び担当期間・年数
- ・非常勤講師としての担当科目及び担当大学・学部
- ・就職指導の実績として特筆すべき実績、インターンシップの派遣又は受入
- ・入試問題の作成、点検、採点に関する委員又は担当者として業務
- ・ティーチングアシスタントとしての活動
- ・教科書（個人的費用により印刷されたもの等を含む）、教材（コンピュータ・ソフトを含む）の執筆・編集・制作等
- ・大学及び高等教育機関や学協会における教育に関する講演活動や専門分野の学術経験者としての教育活動（シンポジウムのパネリストやコーディネーター、講演会の講師等）
- ・教育方法等に関する実践報告書等
- ・教育に関する表彰の授与（プロフェッサー・オブ・ザ・イヤーや優秀授業表彰等）
- ・大学及び高等教育機関や学会における教育に関する委員会活動や組織への貢献

(別紙7)

## I 教育研究業績以外の実績概要

### 1. 社会貢献に関する実績

例えば下記のような活動実績があれば記載する。

無ければ記載省略または今後の抱負の記載等でも可。

- ・産学連携の活動実績、特許、ベンチャー起業、営利企業役員兼業、NPO団体活動
- ・公的機関における審議会、検討会等の委員など兼業の実績
- ・高大活動や初等・中等教育機関等との連携活動等
- ・一般紙（新聞、雑誌等）に掲載された活動実績等
- ・学協会の委員会活動や学術雑誌の編集委員及び査読委員（査読者）
- ・専門分野の学術経験者としての社会活動（公開講座、シンポジウムのパネリストやコーディネーター、講演会の講師等）

### 2. 国際連携に関する実績

例えば下記のような活動実績等があれば記載する。

無ければ記載省略または今後の抱負の記載等でも可。

- ・外国の大学、研究機関との交流実績や外国人研究者との共同研究の実績
- ・留学生指導の実績
- ・外務省やJICA、在外法人（企業）などと連携した海外での諸活動
- ・日本語、英語以外の諸言語の語学の水準
- ・海外研究機関での研究活動等の実績
- ・大学や高等教育機関や学協会における国際会議やシンポジウム等の実行委員等運営に関わる活動

### 3. 大学等の管理運営に関する実績

例えば下記のような活動実績があれば記載する。

無ければ記載省略または今後の抱負の記載等でも可。

- ・学会等学術団体の役員、評議員、実行委員長等の役職
- ・所属組織の役員、管理職、委員会委員長等の内部管理業務
- ・学生指導主任、サークル顧問、運動部監督などの実績
- ・所属組織での担当職や委員等としての内部管理業務の実績

## II その他特記事項

例えば下記のような項目で記載を希望するものがあれば記載する。

「特になし」であるなら、その旨を記載する。

- ・ 国家資格、免許、指導者資格、認定・認証機関の審査員等の実績
- ・ 本人の心身の状況、扶養親族の状況、出産、育児、介護等で配慮を要する状況
- ・ 「琉球大学憲章」、「本学、本学部並びに当該学科の3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー）」、「ダイバーシティ推進宣言」等、本学、本学部並びに当該学科の基本方針への意見や所感
- ・ 採用希望年月日